

施策評価調書(28年度実績)

施策コード I-3-(1)

政策体系	施策名	障がい者が安心して暮らせる地域生活の推進	所管部局名	福祉保健部	長期総合計画頁	45
	政策名	障がい者が地域で暮らし働ける社会づくりの推進	関係部局名	福祉保健部、国民文化祭・障害者芸術文化祭局		

【Ⅰ. 主な取り組み】

取組No.	①	②	③	④
取組項目	障がいや障がい者に対する理解の促進 及び権利擁護の推進	サービス提供基盤の整備	地域生活への移行促進	芸術文化・スポーツの振興と 社会参加の推進

【Ⅱ. 目標指標】

指 標	関連する 取組No.	基準値		28年度			31年度	36年度	目標達成度(%)					
		年度	基準値	目標値	実績値	達成度	目標値	目標値	25	50	75	100	125	
i グループホーム利用者数(人)	②③	H26	1,325	1,462	1,595	109.1%	1,672	2,000						

【Ⅲ. 指標による評価】

評価	理 由 等			平均評価
i 達成	グループホーム等の障がい福祉施設の整備に対して補助を行い、地域生活における住まいの場の確保を図るとともに、地域での相談支援体制の強化、地域移行・地域定着を支える人材の確保や専門性を向上させる取り組み等により、目標値を達成することができた。			達成

【IV. 指標以外の観点からの評価】

取組 No.	指標以外の観点からの評価
①	・障がい者を理由とする差別の解消のため、障がい者差別解消・権利擁護推進センターを設置して専門相談員2名を配置した。(H28相談件数: 1,161件)また、障がい者に対する合理的配慮の提供を推進する取り組みとして、県主催の講演会等への手話通訳者等の派遣や、広報誌等の点字版を作成した。(H28依頼件数: 17件)
②	・障がい者福祉施設の新設等に対して補助を行い、サービス提供基盤の整備を図った。また熊本地震で被災した障がい者福祉施設に対して事業の復旧に要する備品・設備等の費用を助成したほか、防犯対策に資する設備にも助成を行った。 H28整備数: 災害復旧 10施設 防犯対策 69施設
③	・重症心身障がい児者とその家族が地域で安心して暮らせる在宅生活の実現のため、圏域ごとにモデル市町村を選定し、重症児者に対応できる事業所や人材の育成など市町村における取り組みや体制の強化に向けた支援を行った。 H28実施圏域: 豊肥(竹田市)、西部(日田市)、東部(別府市)、研修5回開催(241人参加)
④	・パラリンピック出場が期待される優秀選手の海外遠征経費に対する支援を行ったほか、障がい者スポーツ体験会等を実施し、障がい者スポーツの競技力向上と普及啓発を図った。 H28障がい者スポーツ体験会、子どもふれあい交流会、障がい者スポーツ指導者研修会の実施回数: 95回

【V. 施策を構成する主要事業】

取組 No.	事業名(28年度事業)	事業コスト(千円)	事務事業評価		主要な施策の成果掲載頁
			総合評価	29年度の方向性	
①	障がい者差別解消・権利擁護推進事業	16,697	A	継続・見直し	63
②	障がい者福祉施設整備事業	86,602	A	継続・見直し	64
③	重症心身障がい児者在宅支援推進事業	5,119	A	継続・見直し	65
④	障がい者スポーツ選手育成・強化支援事業	15,693	A	継続・見直し	66
	全国障害者芸術・文化祭開催準備事業	12,831	A	継続・見直し	203

【VI. 施策に対する意見・提言】

○大分県障害者施策推進協議会 (H28.8)
・グループホームと入所施設の機能の違いを明確化し、利用者ニーズに応じた支援ができるように取り組んで欲しい。

【VII. 総合評価と今後の施策展開について】

総合評価	施策展開の具体的内容
A	<ul style="list-style-type: none"> ・障がい者に対する相談支援体制の整備やコミュニケーション支援の充実を図るため、相談機関にタブレット端末を設置し遠隔手話通訳サービスを提供するほか、内部障がい者等が必要な支援や配慮を受けやすくするためのヘルプカードを導入する。また、障がいや障がい者に対する理解の促進と権利擁護の推進を図るため、企業・団体を対象に出前講座を実施する。 ・障がい者の地域生活を支えるための住まいの場の確保や日中活動の場の拡充については、福祉施策と住宅施策などの他の施策との連携を図りながら、大分県障がい福祉計画(第4期)に定める目標値等に基づき計画的に整備する。 ・障がい者の自立した地域生活を支えるため、相談支援従事者を計画的に養成するとともに、従事者の質の向上に努め、相談支援体制の強化を図る。 ・障がい者が共同で生活するグループホームなどの地域の住まいの場の確保と併せ、病院・施設の入院・入所者の地域生活への移行促進を図る。 ・重症心身障がい児者の在宅生活の支援推進のため、研修等による事業所や人材の育成などを通じ、モデル市の自立支援協議会を中心とした地域における主体的な問題解決ができるよう支援を行う(H29実施圏域: 中部(大分市)、南部(佐伯市)、北部(宇佐市))。 ・大分国際車いすマラソン大会や障がい者スポーツ大会の開催などにより競技スポーツの振興を図るとともに、2020年東京パラリンピックを見据え、活躍が期待される選手への支援強化を行う。 ・障がい者スポーツ体験会等を通じた障がい者スポーツの裾野の拡大を図り、2020年東京パラリンピックに向けた機運醸成を図る。 ・全国障害者芸術・文化祭に向けて、障がい者アートの取組を積極的に支援するとともに、共生社会の実現に向けた支援体制の構築を図る。